

出前講座に 行ってきました！

今回は12月3日に福崎町立福崎小学校で実施した
肢体障害者向け支援方法の出前講座報告です。

コロナウイルスの感染拡大防止対策として窓を開けた体育館で、小学校5年生の児童63名を2組に分けて実施しました。講師は神戸市障害者スポーツ指導員の久保 秀男氏にお願いしました。

久保氏は18歳の時のバイク事故による脊髄損傷で車椅子生活となり、その後兵庫県立障害者高等技術専門学校にて彫金技術を取得し、貴金属店に勤務する傍ら車椅子バスケットボールに挑戦し、兵庫県のクラブチームにおいて天皇杯全国大会での優勝経験があります。現在は障害者スポーツ指導員の研修や看護学校の講師など幅広く活躍されています。



今回の出前講座では、まず久保先生のプロフィール、事故前、そして事故後の生活、車椅子バスケットボールとの出会いについて話された後、コロナ禍の状況で変わったこと、そして街中で困っている障害者を見かけた時の支援の方法等を質問形式で進めました。

久保先生は看護学校等での講座経験はあっても、小学生相手の出前講座は今回が初めてで果たしてうまく児童に思いが伝わるか心配されていましたが、講座終了後は、車椅子の人でも色々なことができる、そして様々なことに挑戦し努力する久保先生はすごい、また今回の出前講座で車椅子の方に対する考えが変わり、困っている人がいたら声をかけて助けてあげたいという感想が多くあり、非常に有意義な講座であったと思います。

感想のお手紙をもらいました！



最後に久保先生が講座の中でいつも話されるパラリンピックの父、ルードウィヒ・グットマン博士の言葉を紹介します。

「失ったものを数えるな。残された機能を最大限に活かせ」

失ったことを受け止めつつも、残った体の機能をどのように最大限に活かすかを考えることが大切なのですねという名言ですね。

スタッフより…

平成29年度から3カ年かけて、みんなの声かけ運動強化事業として代表的な身体障害（視覚・肢体・聴覚）について、障害種別に応じた障害者への適切な声かけや支援方法の啓発DVDを作製しました。そのDVDを活用して自治体、企業、各種団体に障害者への適切な声かけ方法等を学ぶ出前講座を実施してきました。

